

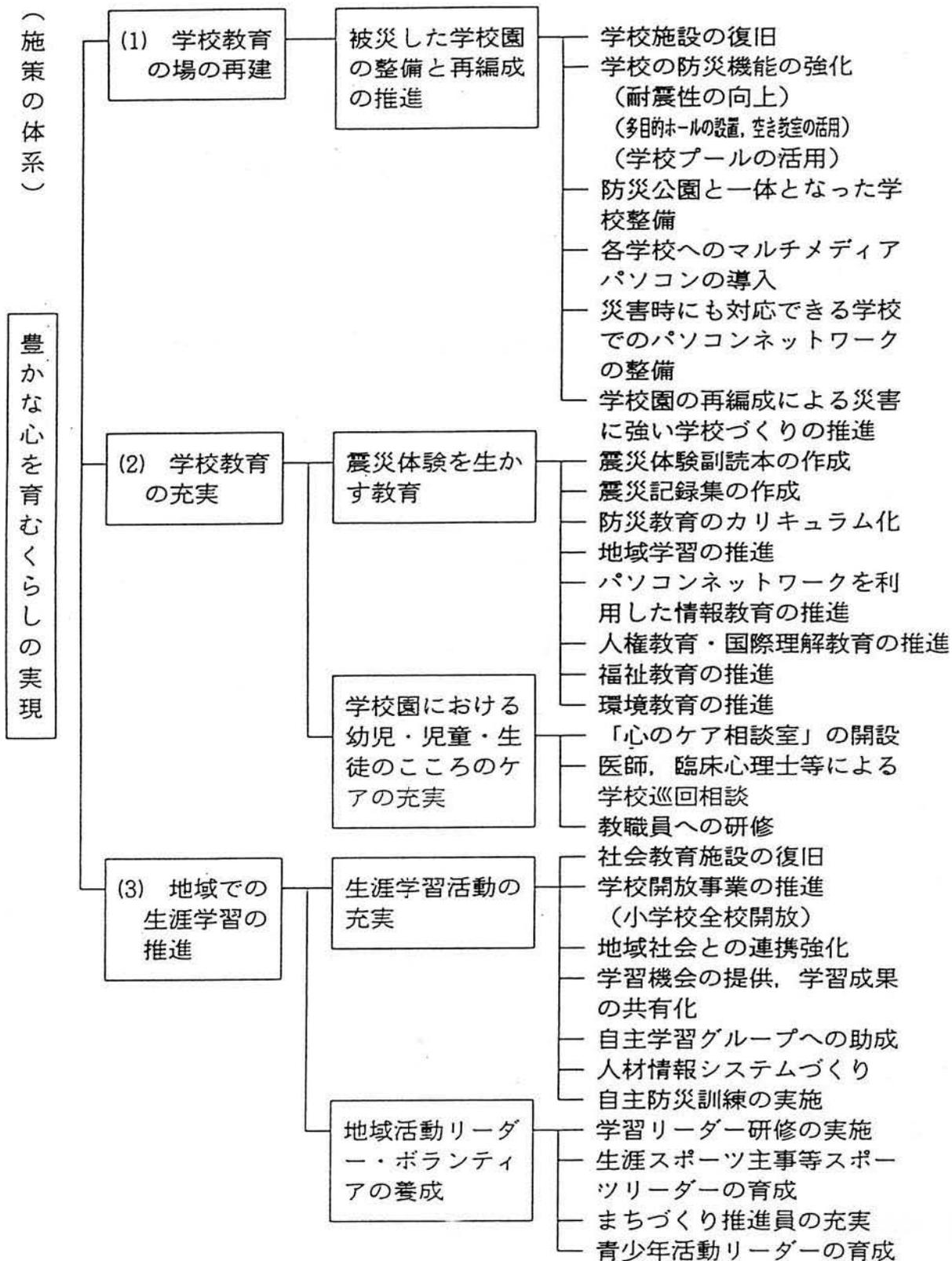
資 料

- 『神戸市復興計画』の抜粋（教育関連）
- 神戸市教育懇話会の概要
- 地震関連資料

『神戸市復興計画』の抜粋（教育関連）

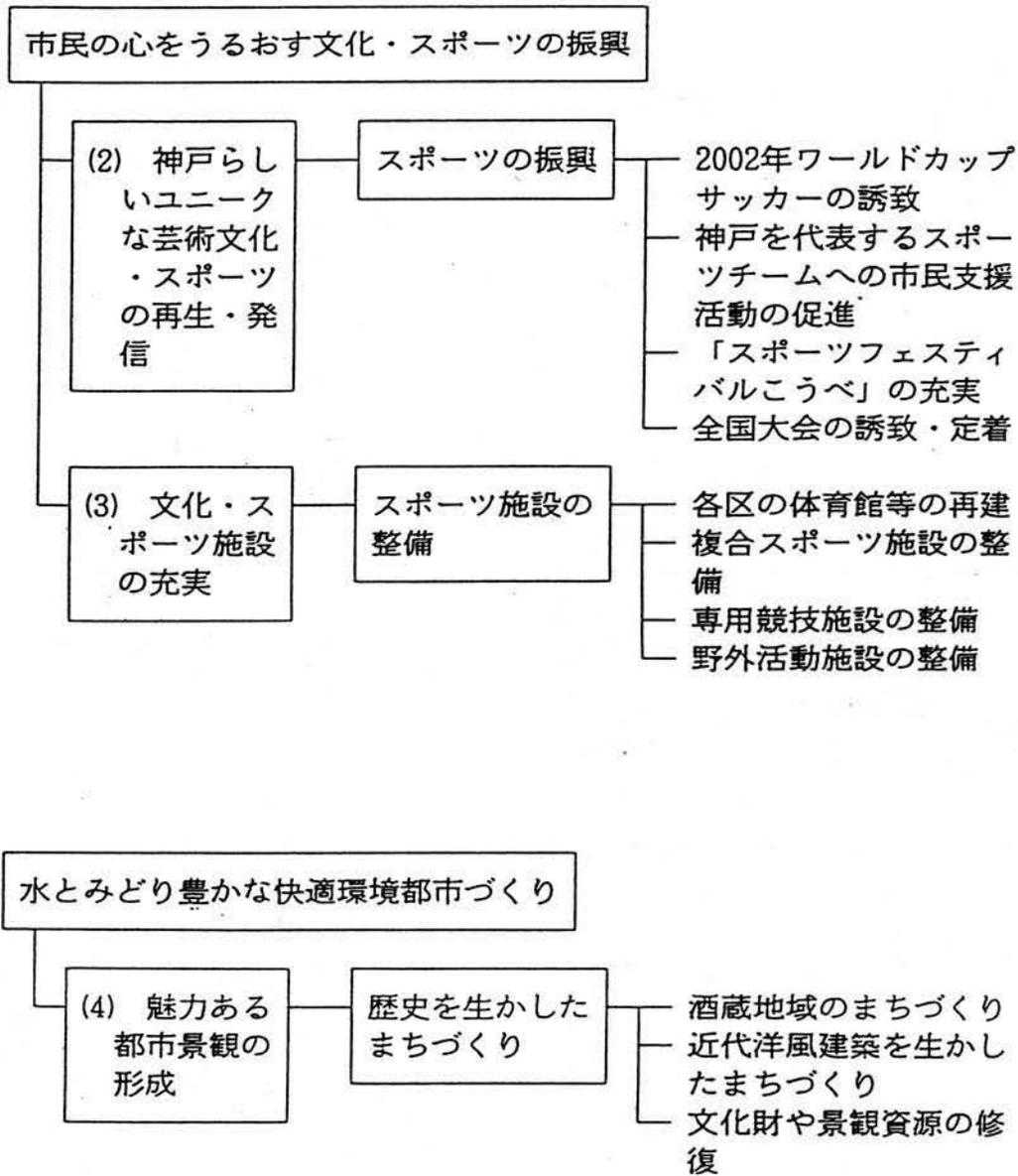
第2章 目標別復興計画

第1節 “市民の暮らし”を復興する

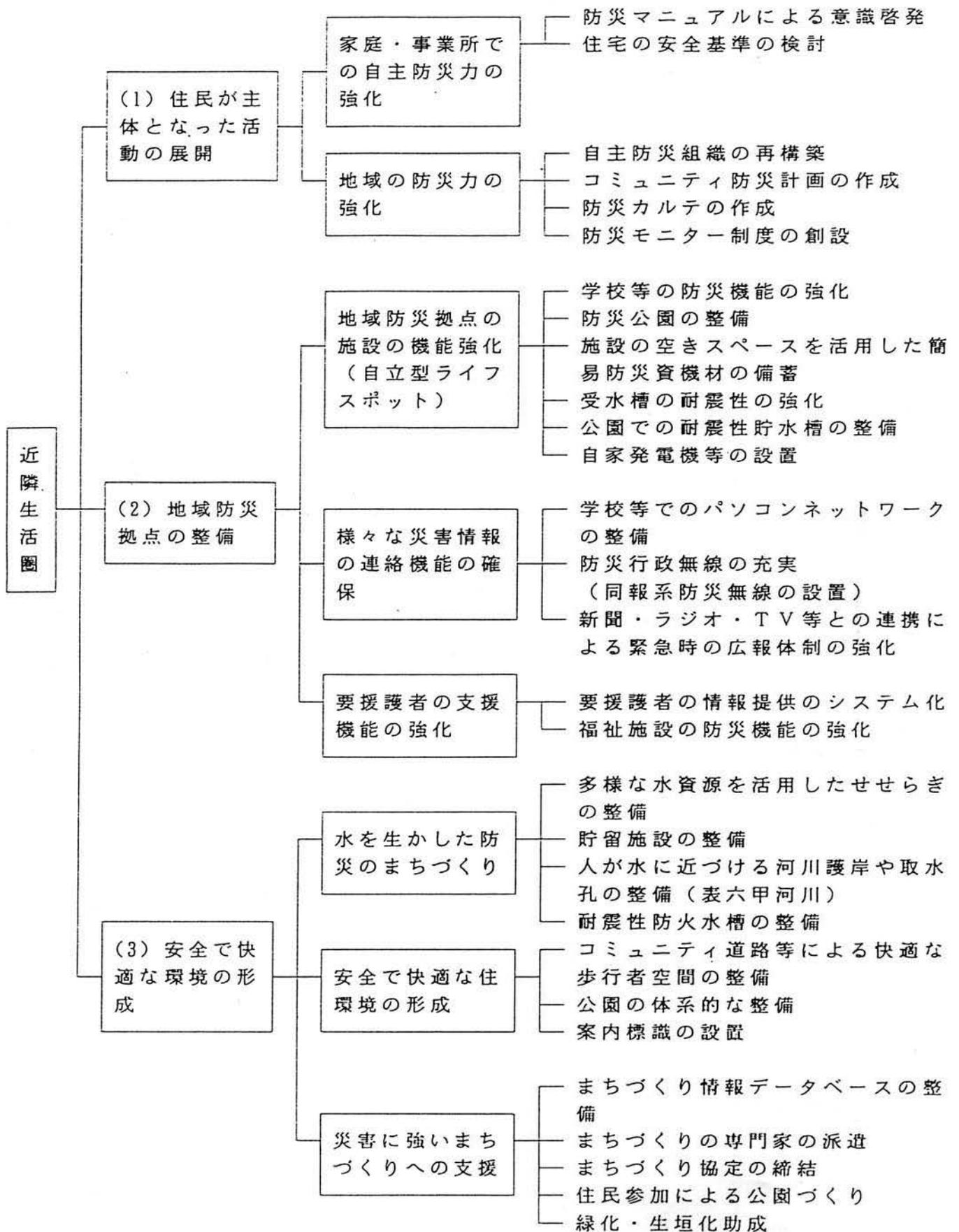


第2章 目標別復興計画

第3節 “神戸の魅力”を復興する



第3章 安全都市づくり
第2節 防災生活圈



神戸市教育懇話会の概要

1 設置趣旨

『神戸の教育再生緊急提言会議』の報告内容のうち、中長期に取り組むべき課題をさらに綿密に検討するため、学識経験者、保護者、教員、行政等の委員で構成される『神戸市教育懇話会』を設置し、広く各界から意見を聞き、今後の神戸の教育の再生と創造に資する。

2 テーマ

(1) メインテーマ

『震災体験を生かす神戸の教育の創造』

(2) 検討項目骨子案

① 学校における防災教育について

- ア 幼児、児童生徒の防災上の必要な知識について
- イ 幼児、児童生徒の防災上の必要な避難訓練について
- ウ 施設・器具などの安全管理について

② 震災体験を生かす教育について

- ア 阪神・淡路大震災から得た教訓について
- イ 阪神・淡路大震災を踏まえた防災上の必要な学校の役割について
- ウ 地域社会や家庭と学校教育との新しい関係について

③ 神戸の新生教育をめざして

- ア 情報教育の見直しと充実について
- イ ボランティア教育の充実について

3 委員構成

学識経験者 5名、 保護者代表 2名、 校園長代表 5名、
教員代表 5名、 行政 6名、 計 23名

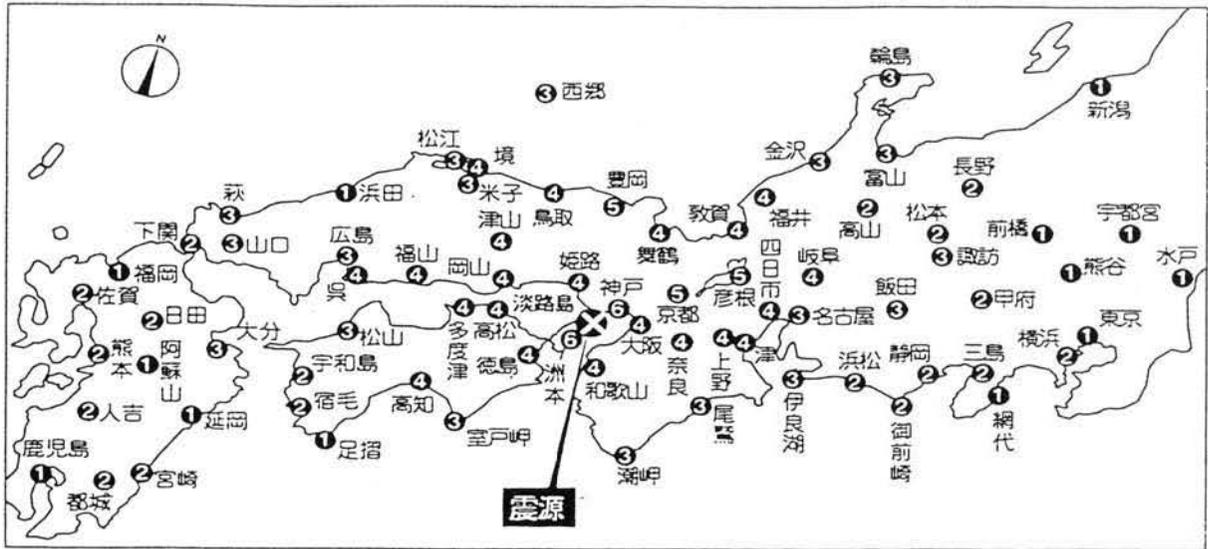
4 発足日

平成7年6月13日（火）

5 答申予定

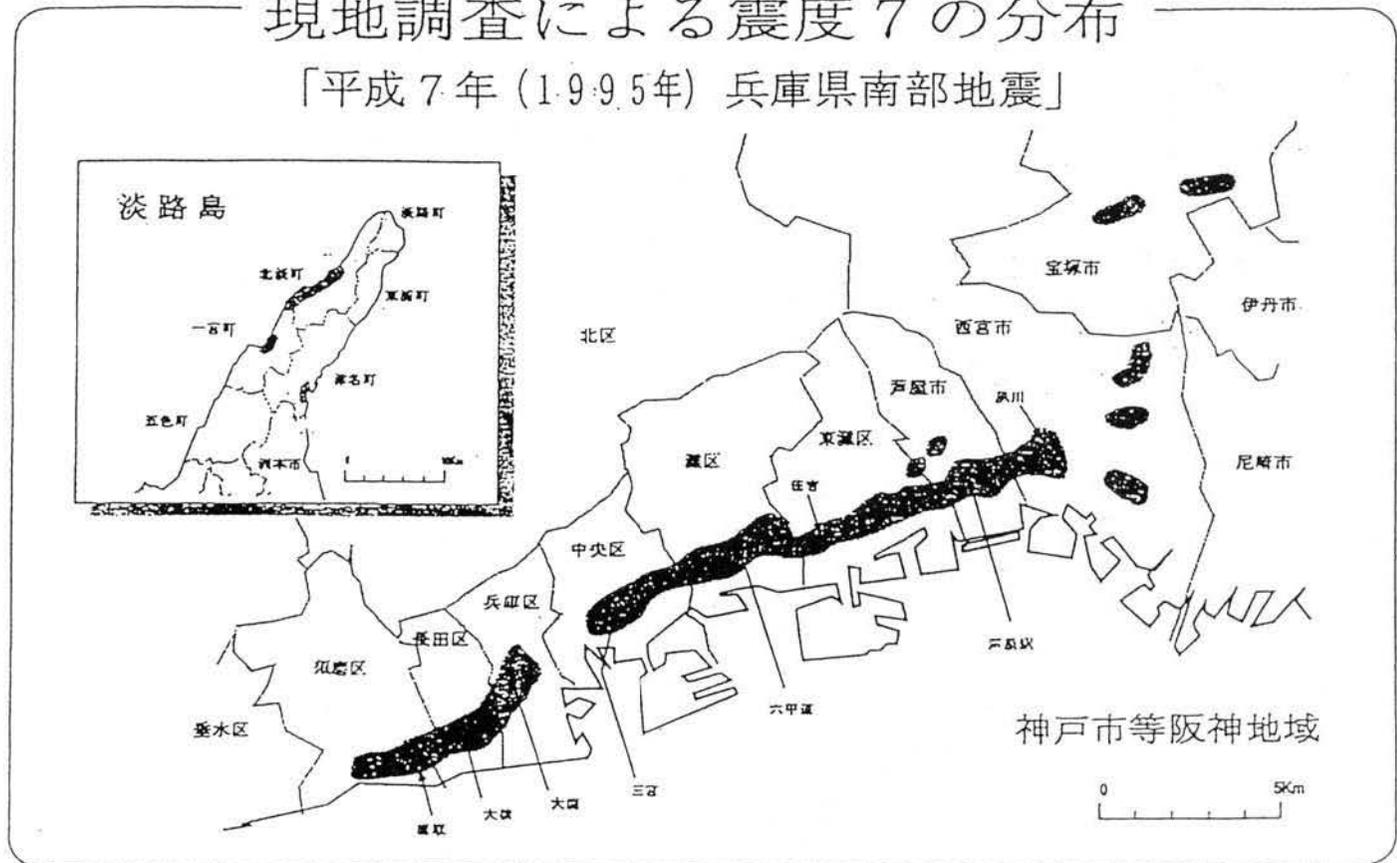
平成8年3月（中間答申 平成7年9月頃予定）

兵庫県南部地震の各地の震度



(アサゲラ71995, 2/1号, p.16)

現地調査による震度7の分布 「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」



※ 震度7については、地震発生後、現地調査(家屋の倒壊30%以上)により決定。

*神戸海洋気象台による

震度階の変遷と外国の震度階

1908～1935 (明治41年～昭和10年) 『中央気象台年報、地震ノ部』(明治41年)による	1936～1948 (昭和11年～23年) 『地震観測法』(昭和11年発行)による	1949～ (昭和24年～) 『地震観測法』(昭和27年発行)による	改正メリカリ震度階(1931)
0：無感覚地震 地震計ニノミ感ジタル地震	無感 地震動を人身に感知できないもの。例えば戸障子等が動く音が聞こえあるいは電燈等の垂下物の動揺が目撃されても振動を直接感じなければ有感とは云わない	0：無感(No Feeling) 人体に感じないで地震計に記録される程度 加速度 0.8gal (cm/sec ²) 以下	1：地震計にのみ感ずる程度の地震、特に感じやすい状態にあるごく少数の人に感ずる程度
1：微震 静止セル人若シクハ地震ニ注意深キ人ノ感ジタル極メテ軽微ナル地震ナリ	I：微震 静止している人や特に地震に注意深い人へのみ感じた程度の地震	I：微震(Slight) 静止している人や特に地震に注意深い人だけに感ずる程度の地震 0.8～2.5gal	2：ビルの上層に静止しているような少数の人にのみ感ずる。動きやすくつくられた物体はゆらぐ
2：弱震(震度弱キ方) 一般人ニ感セシ程度ノ地震ニシテ僅カニ戸障子ノ動く音ヲ聞く程度ノモノナリ	II：軽震 一般の人に感ずる程度のもので戸障子の僅かに動く位の地震[従来弱震(弱キ方)と呼ばれていたもの]	II：軽震(Weak) 大勢の人に感ずる程度のもので戸障子がわずかに動くのがわかるぐらいの地震 2.5～8.0gal	3：特にビル上層の屋内で、著しく感じ、止まっている自動車がわずかにゆらぐが、多くのものは地震とは思わない
3：弱震 家屋動揺戸障子鳴り振り時計止り垂下物動揺、液体ノ動揺等ヲ目撃セシ程度ノモノナリ	III：弱震 家屋が動き戸障子が鳴動し電燈の様な吊下物や器内の水面の動くのが判る程度の地震	III：弱震(Rather Strong) 家屋がゆれ、戸障子がガタガタと鳴動し、電燈のようなつり下げ物は相当にゆれ、器内の水面の動くのがわかる程度の地震 8.0～25.0gal	4：日中家内の多数の人に感じ、皿、窓ガラス、扉などがゆれ、止まっている自動車はかなりゆらぐ
4：強震(震度弱キ方) 家屋烈シク動揺シ座リ悪キ器物ノ倒伏液体ノ滲出等ヲ目撃シタルモノ或ハ之レニ相当スルモノナリ	IV：中震 家屋の動揺が激しく座りの悪い器物は倒れ器内の水は溢れ出る程度の地震[従来弱震(弱キ方)と呼ばれていたもの]	IV：中震(Strong) 家屋の動揺が激しく、座りの悪い花瓶などは倒れ、器内の水はあふれ出る。また歩いている人にも感じられ、多くの人々は戸外に飛び出す程度の地震 25.0～80.0gal	5：ほとんど全部の人に感じ、多くの方は目が覚める。すわりの悪いものは倒れ、振り子時計が止まる
5：強震 壁ニ亀裂石碑石燈籠ノ傾倒煙突ノ破損等ヲ目撃シタルモノ又ハ之ニ相当スルモノナリ	V：強震 壁に割目が入り墓石、石燈籠が倒れたり煙突や土蔵も破損する程度の地震	V：強震(Very Strong) 壁に割目のはいり、墓石、石どうろが倒れたり、煙突、石垣などが破損する程度の地震 80.0～250.0gal	6：すべての人に感じ、多くの方は驚いて戸外に飛び出す
6：烈震 屋宇ヲ倒シ山嶽ヲ崩壊シ地割レヲ生ジ断層ヲ生ズル等地震盤ニ大変動ヲ生ジタルモノナリ	VI：烈震 家屋が倒壊し山崩れが起り地割れを生ずる程度以上の地震	VI：烈震(Disastrous) 家屋の倒壊が30%以下で山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人々は立っていることができない程度の地震 250.0～400.0gal	7：ほとんどすべての人が戸外に飛び出し、すわりの悪いものにはかなりの損害がある
		VII：激震(Very Disastrous) 家屋の倒壊が30%以上におよびやまくずれ、地割れ、断層などを生ずる 400.0gal以上	8：堅牢な建物にもかなりの損害があり、煙突、記念碑、壁などが墜落し家具が横倒する。また砂や泥などを多少吹き出し、井戸水に変化がある
			9：堅牢な建物にも損害があり、一部つぶれ、地面に亀裂が著しく現れる
			10：石工物の大部分破損、地面に亀裂多大、鉄道線路の湾曲
			11：残存建物少なく、橋梁破損、大亀裂
			12：あらゆるものが破損、地表に波形が見られ、あらゆるものは空中に投げ出される

(宇佐美 龍夫 著 新編日本被害地震総覧 東京大学出版会、地学事典 平凡社より)